



さくら

題字 足立区長

足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会

連合会長 中田貢弘

編集 広報部会

発行日 2004年7月1日

〒120-8510

足立区中央本町1-17-1



鹿浜西小 3年 野部茉佑子

目次

| | |
|------------------|--------|
| 心の健康フェスタ | 2 |
| 東京都福祉改革 推進連絡会 | 3 |
| 合同地区だより | 4 5 |
| 介護ってなあに | 6 |
| 子育て応援団 | 7 |
| 民児協便り | 8 |
| 編集後記 | |

更なる地域福祉の発展を

選挙管理委員会事務局長
(前福祉管理課長)
紙谷 衛



福祉管理課長としてわずか1年の在籍でしたが、極めて充実した中身の濃い1年でした。それはとりもなおさず、民生・児童委員の皆様と一緒に仕事ができ、また多くのご指導・ご鞭撻を得ることができたからです。協働の素晴らしさも実感しました。地域に密着した活動をされている皆様のお力添えがないと、足立区の福祉の発展はないといっても過言ではありません。民生・児童委員協議会のますますのご発展を祈念して、御礼の言葉とさせていただきます。

自助・共助・公助のバランスで福祉のまちづくり

福祉管理課長 岡野 進



本年3月までは社会福祉協議会において大変お世話になり、ありがとうございました。今後も、これまで以上にご指導の程お願い申し上げます。さて、今日では、高齢者の介護など誰にでも起こりうる福祉ニーズに対し、行政だけで担うことは困難となっています。行政の役割は自立生活に必要な基礎的なサービスが中心であって、それ以外については自己責任による「自助」、地域やボランティア等による支援である「共助」が不可欠です。民生・児童委員の皆様は地域における行政との橋渡し役として、「共助」「公助」それぞれの推進のかなめであります。今後とも一層のご支援をお願いします。



こころの健康フェスティバル



中田 貢弘
中田連合会長
ケーブルテレビ放送より

3月6日第8回「こころの健康フェスティバル」に参加して庁舎の玄関を入ると、すぐ目についたのは作品展示コーナーでした。素直な感覚で表現した作品に心をうたれ、販売コーナーでは手作りのかわいい小物が多数ありました。2階で開催された民協のバザーは300円から1000円までのコーナーを作り、たくさん売っていました。広場に安藤秀樹氏のすてきな歌声が流れ、庁舎ホールではテレビ司会者小川宏氏の「人生エッセイ」の特別講演が始まりました。小川氏

はうつ病を克服した体験を語り、何ごともプラス思考で、好奇心をもち、笑いがストレスを発散してくれると語り、人生は一度きりなのだから、大切にしてほしいと結んでいました。

パネルディスカッションで、制度の遅れ・偏見・社会復帰の難しさが語られ、最後の演劇「山のカラス」では、社会への怒りと悲しみを感じました。初めは華やかなフェスティバルが最後に、催しと語らいを通して心に残る有意義な一日でした。



(山崎 道子 記)



宮城小 2年 小川春佳



高野小 5年 中村 優



鹿浜第一小 6年 奥墨 彩

みんせいかわらばん

本木東小学校

グループホーム「すずめのお宿」との交流

(教頭 久保田信一 記)

つい最近できたばかりのホームで、14年度より児童何人かがホームのお年寄りとお友達となり本校の「東まつり」にお呼びしたことから、15年度は1・2年の「生活科」の授業としての交流を始めました。一番はじめは「昔あそび」を教えてもらって、一緒に楽しもうと計画をたてて訪問しました。職員の方によるといつもは見せない笑い顔や穏やかな顔つきが見られてとてもいい刺激となったとのことでした。子どもたちの感想が双方の雰

囲気を見事に伝えております。子どもの感想・おばあさんといっしょに手あそびができてうれしかった。たのしそうにやってくれた。



高見莉沙
・おじいちゃんといろんな手あそびができてよかった。あくしゅもしてもらえてよかった。

瀬田 凜

東京都福祉改革推進連絡会



石原都知事



竹花副都知事

石原都知事 “共助型の福祉” 推進

民生委員と地域の力に期待

民生・児童委員が東京都知事から直接説明を受けるのは初めての機会です

東京都福祉改革推進連絡会が4月15日文京シビックホールにて行われました。各地の会長、副会長、部会長、役員を対象にした連絡会でした。始めに石原都知事の挨拶で、子どもの虐待、災害対策、高齢者問題、ホームレス対策等さまざまな施策を進める上で、皆様からのきたんの無いご意見を頂きたい。福祉対策に於いては、自助、共助、公助が有るが、まずは自助が大切であると述べられました。大澤都民連会長は、出席した知事、関係者に対するお礼の言葉の後、福祉改革に向けた三つのキーワード「選択、競い合い、地域」を胸に民生・児童委員の更なる取り組みを期待すると共に、関係機関のご支援も頂きたいとお話しされました。次いで内田都議会議長より、安全、安心の町づくりのため、この

施策を理解し推進することが大切であるとのこと挨拶を頂きました。幸田福祉局長からは、今東京では、制度疲労により、行き詰まりを見せている。これまでの行政主導の福祉システムを、前記の三つのキーワードの下、新しい改革に全力で取り組んでいると力強く語られました。その後、竹花副知事の講演が行われました。30年間の警察官経験を生かし、安全安心の町づくり、議論ばかりで解決できなかった少年の非行問題を地域、学校、ボランティア、福祉、警察それぞれが連携して取り組めるよう努力したい。皆様には子ども達のかげ込み寺になって頂きたいと、まとめられました。今回の福祉改革推進のためには、いかに民生・児童委員の力が必要とされているかを知り、責任の重さを痛感しました。

(安藤 順子 記)



扇小 2年 松本一馬



とびっくす

足立区ボランティア連合会

鹿浜小 3年 真木友哉

第一回足立区ボランティア連合会（21団体が登録）の研修会が、“地域で地域をささえる望ましいボランティア”と題して、2月14日Lソフィアにて開催されました。満席の会場では、講師として迎えられた中井千春氏、横内康行氏、神立静江氏、一場幸男氏、中田貢弘氏によるパネルディスカッションが行われました。「ボランティア活動は、すばらしい出会いがあり学びがある。ささえるとき相手が何を望んでいるか何をして貰いたいかを知る。そして明るく楽しく元気な笑顔で接することが一番大切」と各氏が力説されておりました。また障害者が本当に願っているのは、偏見のない社

会であり、もっと自分達の人権を認めてもらいたいということでした。明るく楽しく元気な笑顔でを合言葉に、地域でささえ合う輪の広がりが、期待されます。

(中島千代 記)



合 同 ・ 地 区 だ よ り

第一合同 常東地区

4月16日、常東地区の自主研修として「あしすと」の見学を行いました。「あしすと」は障害を持つ方が、それぞれの目標に向かっていくための支援をしている障害福祉施設です。自立生活支援室などいろいろ見学をしましたが、本当にすみずみまで行き届いた施設でした。この研修

を終えて、障害をもつ人ももたない人も、お互いに尊重し支えあい協力していくことの大切さを強く感じました。



(長塚 敏子 記)

第一合同 3地区

4月24日、4月期自主研修会「施設見学」を行いました。場所は特別養護老人ホーム「さくら」と身体障害者療護施設「かえで」です。平成12年にオープンした当館は、明るい雰囲気とソーラーシステムを使った温かい館内で、全てバリアフリーの広々とした移動し易い設計です。浴室内での新しい器具の充実やリハビリ室の

活用など寝たきりにならないようないろいろな工夫がされていました。自立した生活を願う方向性での介護支援が感じられ大変嬉しく思いました。誰しも望まなくて訪れる身体の障害や痴呆家族と共に前向きに対応していく施設として、これからも安全で自立を担う環境作りをお願いしたいと思いました。



◀ 血沼小 六年 添田健太

(星野 明美 記)

第一合同 4地区

平成16年度青少年対策4地区総会が千住本町住区センターにて行われました。15年度報告、16年度案に続き役員改選、次に学校報告、十六中の浅松教頭先生から統廃合により十六中最後の年に当たり「思い出に残る年にしたい」。千住本町小学校の新井校長先生より「本年度から二期制になり、学期の中に夏休みが入るため学習が途切れないようにするのが課

題」とのお話がありました。その後、青少年副部長から「地域と学校の連携が密で活動がうまく行く」との意見があり、和やかに閉会いたしました。

(大久保 義子 記)



第二合同 佐野地区

自主研修の席上、特別養護老人ホーム「さの」にある喫茶「いっぶく」で、週3回コーヒーのサービスをするボランティア活動のことが話題になりました



た。地元町会婦人部、民生・児童委員が協力し毎月1回行っています。デイサービスの利用者みなさんも楽しんでいかれて大変好評だそうです。

(関根 眞教 記)

さくらにゅーす

東綾瀬地少協春季体育祭



東綾瀬地区少年団体協議会では、毎年5月の日曜日に東綾瀬中学校の校庭をお借りして、地域の交流と青少年の健全育成を目的とした、8町会の子ども会対抗の運動会を開催しています。今回は第31回目となり5月9日に実施しました。今回1300名以上の参加者があり子ども会ごとの応援合戦や、小学1年から6年までのリレー、大人も参加の年

代別リレーなど大変盛り上がりしました。今回、地域の学校関係者や地区対・町連を始め、各町会役員の方、民生・児童委員のかたがたの参加協力を頂き大変ありがたく思っております。前回は第30回の記念大会のため、足立区長賞の優勝トロフィーも頂きました。さらに頑張っってよいものにしていく所存です。(会長 星野雅夫 記)

第四合同 7地区



上沼田小 4年 高野雄大

4月13日、「関原の森・まちづくり工房館」にて自主研修会を行いました。瀬田会長の挨拶に始まり“あんしんネットワーク活動について”のテーマで在宅介護支援センター関原の奥澤所長に講演をお願いしました。「困った時に

役立つ情報」として、あんしんネットの事例や在宅介護支援センターの働きなど、細やかな説明がありました。その後活発な意見、質問もあり私どもの役割の大切さを感じる有意義な研修会を終了することができました。

(古姓 長孝 記)

第六合同 14地区

ビーチボールバレー大会
で学んだこと



写真提供 舎人区民事務所 大沢弘昌

3月7日に第9回舎人地区対 交流ビーチボールバレー大会が開催されました。この大会は、青少年健全育成に係わる各団体が参加し、交流・親睦を図ることが目的です。当日は、選手として・応援者として・そして反省会と一日中熱く燃えました。ビーチボールバレーは、ひとりひとりボールをつないで得点するチームワークがもっと

も大切な競技です。今後この大会の趣旨どおり、民生委員の親睦はもとより、他の団体との交流・連携を深め、地域福祉のために活動していきたいと感じた一日でした（キャプテン阿部談）。我が民生・児童委員チームは、出場3年目にして見事3戦全勝。得失点差で惜しくも3位（実際は組み合わせがよかったので3位）でした。（森脇 久仁子 記）

第七合同 神明地区

神明地区は足立区の東北に位置した地域です。男性5名、女性9名、計14名です。人数が少ないため何かと忙しくしていますが、トラブルもなく福祉活動に取り組んでおります。夏休みには子どもを犯罪に巻き込まれないように、青少年非行防止パトロールに参加したり、開かれた学校づくり協議会にも協力しております。また、4月20日には特別養護老人

ホーム「さの」に見学に行きました。寝たきり老人や痴呆の方が杖を使っでの歩行訓練などをしていました。また、親切にヘルパーさんがその方々を介護しておりました。平均寿命がのび高齢者が増えており、10年後には4人に1人が高齢者とのことです。そのためにも、特別養護老人ホームはもっとも必要になることを痛感しました。

(増尾 良子 記)

広報部会 勉強会

5月12日、広報部会を早めに終了し、デザイン事務所を運営されております鈴木玲子氏をお迎えし、広報誌のデザインについて勉強会を行いました。写真でもおわかりのように先生と生徒がテーブルを挟んで接近し、自らがデザインしたタウン誌、リーフレット、ポスター等の作品を持参し、それらを基にいろいろと説明を受けました。「さくら」については子どもさんの絵画や版画、それに写真ありでバラエティーにとんでいて素人集団がここまで出来たことに高い評価をいただきました。表紙は題字と絵のバ

ランスについて紙に書き、このような方法もある、との説明を受け紙面作りに大変参考になり有意義な勉強会でした。最後になりましたが先生にはお忙しい中、ありがとうございました。今後ますますのご活躍をご祈念申し上げます。



(8地区 田中 栄一 記)

たはむわに命を背負して
そのあまり軽(かる)きに泣き
三歩よめます

石川 啄木

「二握の砂」より

介護ってなあに

在宅介護支援センターにおける あんしんネットワーク活動について

在宅介護支援センター関原では、専門相談協力員（民生委員）、あんしん協力員の方々のご協力を得てあんしんネットワーク連絡会を定例的に開催しております。14年度は、「地域の情報交換・地域の現状を知る」という内容で会議をもちました。この会議で、高齢者の方々が何らかの援助を必要とするのに、相談できずに困っている場合の見落としや、見逃しをしないために地域の情報・現状を良く理解し共有することの大切さを再認識致しました。地域の情報・現状をより良く理解するためには専門相談協力員、支援センターとの連携の必要性を痛感致しました。また会議では、地域の高齢者の方々に「困った時に役立つ情報」を提供することにより、困った時の相談窓口がわかり安心を得られるのではないかと考えました。「困った時に役立つ情報」の作成は専門相談協力員、あんしん協力員、支援センター職員のグループワークで取り組みました。内容は、各丁目毎の地図の作成と高齢者の方々に必要なサービス提供機関や専門相談協力員、あんしん協力員、支援センター等の社会資源一覧表です。出来あがった「困った時に役立つ情報」は、相談にいらした方や訪問先の方々にお渡ししております。また、地域内

にある熟年クラブ会員と65歳以上の88世帯の方々にあんしん協力員の方々が戸別配布して下さいました。この「困った時に役立つ情報」を共に作成するなかで専門相談協力員、あんしん協力員、支援センター職員がそれぞれに対する理解を深め、その後の会議において一層、意思疎通・コミュニケーションが図られ、連携力が増進されたと感じております。

15年度は、専門相談協力員、あんしん協力員のご意見を頂きながら「家で介護 さあどうする！」というパンフレットを作成致しました。介護保険の訪問介護サービスや介護保険外のサービスについて絵を入れてわかりやすく紹介しています。このパンフレットは、支援センターの窓口におき、また、専門相談協力員、あんしん協力員の方々から地域の方々へお配り頂きました。今後、介護予防を視点におき地域の在宅介護支援センターとして、地域の方々の多様なニーズに対応し安心して自立した生活が出来るよう専門相談協力員、あんしん協力員、地域の方々と連携し、地域福祉を一步一步前進させて行きたいと考えております。宜しくお願い致します。

(所長 奥澤 加恵子 記)

こんなときには在宅介護支援センターへ

高齢者向きに住宅を改修したい

手すりの取り付け、段差の解消、浴そうの取り換え等

ひとり暮らしで食事を作るのが大変

調理した食事を自宅に届ける配食サービスがあります

ふとんを洗ってほしい

介護保険で「要介護3・4・5」と判定された方

最近、足が不自由になり病院や買い物など外出するのが不安だ

歩行が不自由な方のために「シルバーステッキ」を無料で差し上げています。「シルバーカー」(手押車式歩行補助器)の給付申請もあります



ヘルパーさんに介護を頼みたい

介護保険の認定を受けている方はご相談ください。介護保険の申請をしていない方は、申請の代行をします



家事を手伝ってほしい

介護保険の認定を受けたが「自立」と判定された方、ご相談ください(生活支援ヘルパー派遣事業)



紙おむつが必要になった

介護保険で「要介護3・4・5」と判定された方で、常時おむつが必要な方へ「紙おむつ」の支給サービスがあります。ご相談ください。
※ 非課税世帯が対象となります



車いすを借りたい

無料で車いすを1カ月間お貸ししています。介護保険で借りている方は、申請できません



子育て応援団

児童委員、児童相談所、学校等の関係機関による 地区連絡協議会

2月23日、区役所13階大会議室において、民生児童委員の会長、副会長、主任児童委員、児童部会員、児童相談所、小学校校長先生方が出席し、地区連絡協議会が開催されました。各機関の方々が7ブロックに分かれて、坂野主任児童委員副会長の司会のもと、開会の辞を小泉主任児童委員部会長より、中田連合会長より「足立区子ども達が今以上に良くなるように」との挨拶を頂きました。来賓挨拶が紙谷福祉管理課長、田城利明児童相談所所長と続きました。次に学校長、児童相談所職員の紹介がありました。続いて、今井久子こども家庭支援センター主査より、本日のメインテーマ「親と子の絆」について「親は子どもが生まれた時の感動をもって育てられるか、また子どもと二人で向き合った時、子どもを褒められるか、母と子の一对の愛情だけでなく、子どもをとりまく全ての人々の力も必要ではないでしょうか」とのお話がありました。事例を提案され各グループが児童委員として、何が出来るか討議に入りました。事例を要約すると、「母一人親家庭、生保受給、子どもは小学校低学年3人で母親は夜間外出が多く家事をしない。生保受給だがライフラインが止まり大変な思いをしたこともある。長女が妹の面倒を見ながら家事を担っている。母親は長女依存で長女はストレスが多い。一番下の女兒は育てにくい子とっているため叱ることが多い」。グルー



プ毎に協議結果の発表がありました。

- ☆・一番の問題は子育ての知識のうすい母親が親としての心を取り戻す。
- ☆・地域で出来ることは一人で抱えこまないで多くの目で見守る。
- ☆・児童委員としては情報提供をしてもらい気になる子がいたら声かけをする。各関係機関と情報を共有して皆で考える。
- ☆・学校の取り組みとして相談員を置く、家庭訪問や電話連絡をしてもらう。
- ☆・解決策については関係機関と連絡を密にして根気よく見守る。

以上の結果となり、まとめとして川上彰久弘道小学校長より「支援は子ども達が大人になった時に自立して行けることと、人の役に立っていることがわかった時、大きく成長して行きます」との言葉でグループ協議が終わりました。

閉会の辞を渡邊児童福祉研究部会長に頂き終了致しました。(竹の塚地区 飯泉 節子 記)



北鹿浜小 5年 大竹綾佳



新田小 6年 奥山葉菜



江北小 2年 狩野実里

主任児童委員・児童部会

「神奈川医療少年院を見学して」

平成16年2月27日、オウム事件の判決のあった日、児童福祉研究部会は平成15年度の第4回部会として神奈川医療少年院の施設見学を行った。ここには、犯罪行為によって処遇を決められた知的障害者、情緒未成熟により社会に著しく不適応な14歳から20歳未満の少年たち83名が収容されている。鉄格子のないこの施設で、精神科の医師によるカウンセリングを受けながら、陶芸や木工芸等を通して教官から根気よく生活指導を受けている。白い帽子をかぶり整列している少年たちを遠くから眺め、一日も早く社会復帰ができることを願った。彼らの深い心

の傷は養育放棄に起因し、その数も年々増加の傾向にあると聞いた。参加した3名の主任児童委員も、今、ネグレクトによる問題を抱えているという。渡邊部会長の都民連研修報告の後、3歳までの家庭教育の大切さを述べていた。特に乳幼児の母親を孤立させてはならないと思う。他区に先駆けてこども家庭支援センターを立ち上げた足立区は、この政策を働く若い世帯に厚く継承して行って欲しい。

この日は8地区の茂木委員の紹介で、マホロバ・マインズ三浦に宿泊し、部会員相互の絆を深めたので、今後の活動はより円滑になると思う。

(勝村 節子記)



民生・児童委員協議会からのお知らせ

| 日 程 | 会議名 | 場 所 |
|--------------------|----------------|------------|
| 7月 9日 (金) | 会長協議会 | 区役所 12階会議室 |
| 8月 6日 (金) | 会長協議会 | 東武菜苑 |
| 8月24日 (火) | 全員研修 | 区役所庁舎ホール |
| 9月10日 (金) | 会長協議会 | 区役所 13階会議室 |
| 9月13日 (月)～16日 (木) | 合同協議会 | 区役所 13階会議室 |
| 10月 8日 (金) | 会長協議会 | 区役所 13階会議室 |
| 10月 | 合同協議会 (研修旅行) | |
| 11月12日 (金) | 会長協議会 | 区役所 12階会議室 |
| 11月15日 (月)～18日 (木) | 合同協議会 | 区役所 13階会議室 |
| 11月24日 (水) | 東京都民生委員・児童委員大会 | 文京シビックホール |

ときの話 題

新交通システム日暮里・舎人線と荒川の今昔

4月17日、18日、26日の3日間にわたり、夜間首都高速道路と都道を通行止めにして新交通システム日暮里・舎人線の橋りょう架設工事が行われました。都道わきの五色桜が満開で、新しい都市造りの真っ最中の感がありました。

荒川(現在の隅田川)は明治43年の大水害で13カ所の堤防が決壊し、家は流され米の収穫が望めなくなりました。バイパスとして荒川放水路の開削事業が決まり、永い工事期間をへて大正13年10月12日に当時の首相をはじめ関係閣僚出席のもと、通水式が行われ昭和5年に新荒川(現荒川放水路)が完成しました。享保17年、8代將軍徳川吉宗が桃・桜・柳の3樹を植えさせたのが桜堤の始まりとされていま



す。大正12年国の名勝に指定され五色桜が有名になったが戦争で壊滅的な打撃を受け、戦前ワシントンに贈った五色桜が里帰りし、都市農業公園に移植し増殖され五色桜が復活して現在に至りました。モノレール工事付近は昔、荒川の渡し舟跡で熊野の渡し場付近と思われま

(第五合同 13地区 飯田 稔 記)

編集後記

役割分担もしっかりと出来上がり、皆集中して出来るようになりました。より良い広報誌を作るために、

勉強会もしました。全員はりきってがんばっています。これからも「さくら」をお愛読下さいますようお願い申し上げます。(山崎 道子 記)

皆様の原稿を募集いたします 次号発行予定日 11月1日 連絡先 地区 広報委員

さくら に応募いただいた絵を区役所庁舎ホールに展示いたします

期 間 7/10 (土) から 7/19 (月)

* 庁舎ホールは 土曜 日曜も 開放されています

広報部会

部長 平田 幹明

副部長 高野 正季

渡邊 正勝

会 計 陽子

須田 陽子

山崎 道子

書記 祥一

山本 勝男

宮本 勝男

編集委員 小菅 實子

安藤 順子

松本 はな美

猪俣 勝美

大山 久穂

内藤 久子

中島 千代子

加藤 喜代子

田中 栄一子

大野 悦子

野辺 陽子

森脇 久仁子

武内 啓友

飯田 節子

塩田 博子

細井 力造

北嶋 昭夫